





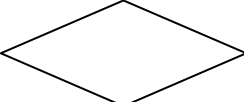



インタフェース仕様書(案)

市町村編

【抜粋版】

平成 XX 年 XX 月

※受け渡し概要図の中で用いている図の意味は、次の通り。

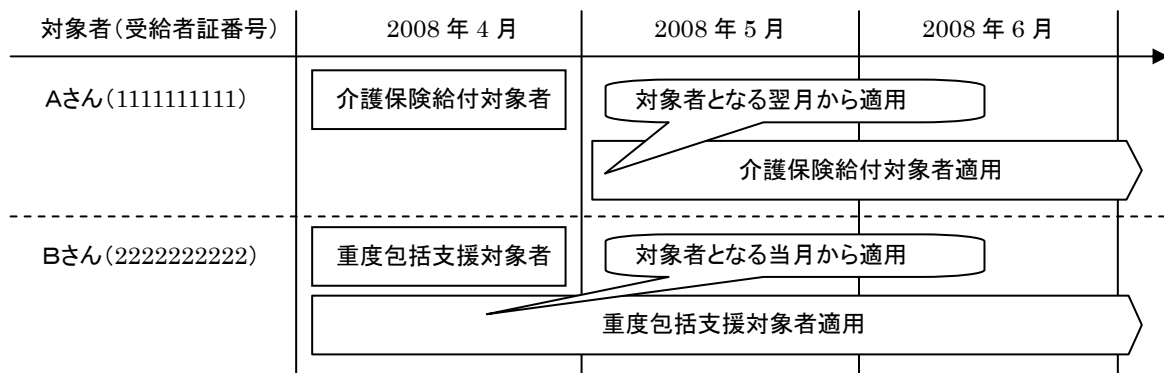
表示図	内容
	処理
	手作業
	データベース
	データ
	判断
	当該システムから出力された帳票
	他のシステムから出力された帳票及び添付書類等
	参照

※異動年月日の年月又はサービス提供年月が平成24年4月以降の場合、本インターフェースにおいて「児童デイサービス」、「サービス利用計画作成費」及び「旧法施設支援」に関する内容は使用しない。

項番	項目名	属性 (※2)	バイト 数	内容	必須入力 (※1)	備考
27	上限額管理有無	コード値	1	上限額管理の有無を設定する	◎	1:無し 2:有り
28	上限額管理 事業所番号	コード値	10	上限額管理を行う事業所番号を設定 する	○	※C
29	上限額管理有効期間 (開始年月日)	コード値	8	上限額管理有効期間の開始年月日 (西暦年月日(YYYYMMDD))を設定す る	○	※Y
30	上限額管理有効期間 (終了年月日)	コード値	8	上限額管理有効期間の終了年月日 (西暦年月日(YYYYMMDD))を設定す る	○	※Y (終了時のみ設定 する)
31	計画相談支援有無	コード値	1	計画相談支援有無を設定する	◎	1:無し 2:有り ※12
32	計画相談支援 事業所番号	コード値	10	計画相談支援を行う事業所番号を設 定する	○	※C ※12
33	計画相談支援 有効期間 (開始年月日)	コード値	8	計画相談支援有効期間の開始年月 日(西暦年月日(YYYYMMDD))を設定 する	○	※Y ※12 ※14
34	計画相談支援 有効期間 (終了年月日)	コード値	8	計画相談支援有効期間の終了年月 日(西暦年月日(YYYYMMDD))を設定 する	○	※Y ※12 ※14
35	市町村が定める額の 適用有無	コード値	1	法第三十一条(災害その他の厚生労 働省令で定める特別の事情)に基づ く市町村が定める額の適用有無を設 定する	◎	1:無し 2:有り ※13
36	市町村が定める額	数値	6	法第三十一条(災害その他の厚生労 働省令で定める特別の事情)に基づ く市町村が定める額を設定する	○	※7
37	市町村が定める額の 有効期間 (開始年月日)	コード値	8	法第三十一条に基づく市町村が定め る額の開始年月日(西暦年月日 (YYYYMMDD))を設定する	○	※Y ※13
38	市町村が定める額の 有効期間 (終了年月日)	コード値	8	法第三十一条に基づく市町村が定め る額の終了年月日(西暦年月日 (YYYYMMDD))を設定する	○	※Y ※13
39	特定旧法受給者区分 (経過措置対象者)	コード値	1	特定旧法受給者(経過措置対象者) の場合に設定する	◎	1:対象外 2:対象(通所) 3:対象(入所) ※8
40	独自助成対象者区分	コード値	1	独自助成対象者の場合に設定する	◎	1:対象外 2:対象

- ※1: 必須入力 ◎: 必須、○: 決定内容により必須、△: 任意設定、空白: 不要
 ※2: カナ名の設定ができない場合は、半角文字のダミーデータ等を設定する。
 ※3: 障害程度区分の変更において、月途中で変更された場合の報酬区分は、月単位の適用とはせず、変更の前後におけるそれぞれの区分に応じて日単位で報酬区分を適用するため、障害程度区分を変更した日を設定する。
 ※4: 境界層対象者に対する定率負担の軽減措置を実施している場合は、定率負担に対する上限月額代わりに減免後の利用者負担上限月額を設定する。また、異動年月日の年月が平成22年4月以降の場合でかつ所得区分コードが次のいずれかの場合は、「0」(0円)を設定する。
 (「01:生活保護」「02:低所得1」「03:低所得2」「99:その他」)
 ※5: 世帯員構成等世帯の状況が変化し、利用者負担上限月額を変更する場合は、翌月初日を設定する。また、申請日が月の初日の場合、該当月の初日を設定する。
 ※6: 補足給付額(日額)が変更になる場合は、翌月初日を設定する。また、申請日が月の初日の場合、該当月の初日を設定する。
 ※7: 異動年月日の年月が平成24年3月以前の場合は、障害者自立支援法第三十一条に基づく給付率(90~100の値)を設定する。
 ※8: 特定旧法受給者(経過措置対象者)で通所施設の場合は、「2:対象(通所)」を設定し、入所施設の場合は、「3:対象(入所)」を設定する。また、通所施設の場合に別施設等に移動した場合は、特定旧法受給者(経過措置対象者)対象外となるため、「1:対象外」を設定し、受給者異動連絡票情報を作成する。
 ※9: 官報号外第224号厚生労働省告示第五百三十号記載の介護保険給付対象者および報酬告示第8の重度障害者等包括支援サービス費の注1に規定する利用者の心身の状態に相当する心身の状態ある者の有無を設定する。
 なお、本項目は国庫負担基準の対象者を区別するための項目であり、以下の点に留意し受給者異動連絡票情報を作成すること。
 ①介護保険給付対象者となる場合は、介護保険対象者となる翌月の「異動年月日」で受給者異動連絡票情報を作成すること。
 ②重度包括支援対象者となる場合は、重度包括支援対象者となる当月の「異動年月日」で受給者異動連絡票情報を作成すること。

<作成例>



Aさんが介護保険給付対象者となる場合(異動年月日を翌月で設定)

異動年月日	受給者証番号	介護保険給付対象者有無	重度包括支援対象者有無	...
20080501	1111111111	2:有	1:無し	...

Bさんが重度包括支援対象者となる場合(異動年月日を当月で設定)

異動年月日	受給者証番号	介護保険給付対象者有無	重度包括支援対象者有無	...
20080401	2222222222	1:無し	2:有り	...

- ※10:異動年月日の年月が平成22年4月以降の場合は、「1:無し」を設定する。
 - ※11:障害者支援施設又は旧法指定施設の入所者のうち補足給付の支給対象となる者については、本項目に補足給付情報を設定する(共同生活介護、共同生活援助の補足給付情報は本項目に設定しない)。
 - ※12:異動年月日の年月が平成24年3月以前の場合は、サービス利用計画作成情報を設定する。
 - ※13:異動年月日の年月が平成24年3月以前の場合は、障害者自立支援法第三十一条に基づく給付率の情報を設定する。
 - ※14:異動年月日の年月が平成24年4月以降の場合は、計画相談支援対象者が利用する障害福祉サービスの支給決定又は地域相談支援給付決定の有効期間のうち最長の有効期間と同一の期間を設定する。
-
- ※B:「インタフェース仕様書 市町村編 I. 障害福祉サービス等 1.2 インタフェース一覧」参照。
 - ※C:「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。
 - ※Y:「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。
 - ※Z:「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

1. 3. 2 受給者異動連絡票情報(支給決定情報) (E121)

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	必須入力 (※1)	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B
2	異動年月日	コード値	8	受給者異動連絡票情報(支給決定情報)に変更等が生じた年月(西暦年月(YYYYMM))と連番(異動順)を設定する	◎	※Y
3	異動区分コード	コード値	1	異動区分コードを設定する	◎	1:新規 2:変更 3:終了
4	異動事由	コード値	2	受給者異動連絡票情報(支給決定情報)の異動事由を設定する	◎	※C
5	証記載市町村番号	コード値	6	受給者証記載の市町村番号を設定する	◎	※C
6	政令市市町村番号	コード値	6	政令市が受給者を行政区で分けて管理する場合のみ政令市の市町村番号を設定する	○	※C
7	受給者証番号	英数	10	受給者証番号を設定する	◎	※C
8	決定サービスコード	コード値	6	決定したサービスのコードを設定する	◎	※C
9	旧障害程度区分等コード	英数	2	障害児が短期入所する場合の単価区分、旧法施設の場合の程度区分を設定する	○	※2 ※C
10	決定支給量	数値	8	決定した支給量(上6桁整数部、下2桁小数部)を設定する	○	※3
11	1回当たりの最大提供量	数値	5	居宅介護において1回当たりの最大提供量(上3桁整数部下2桁小数部)を設定する	○	
12	支給量単位区分	コード値	1	決定した支給量の単位区分を設定する	○	※C
13	決定支給期間 (開始年月日)	コード値	8	決定サービスの有効期間の開始年月日(西暦年月日(YYYYMMDD))を設定する	◎	※Y ※4
14	決定支給期間 (終了年月日)	コード値	8	決定サービスの有効期間の終了年月日(西暦年月日(YYYYMMDD))を設定する	◎	※Y ※4
15	相互利用対象者区分	コード値	1	相互利用者対象者の場合、対象者区分を設定する	○	1:身体 2:知的 3:精神

(5) 計画相談支援

- ① 決定支給量 : なし
- ② 設定方法 : 設定しない。
- ③ 点検方法 : なし

(6) 地域移行支援、地域定着支援

- ① 決定給付量 : 「当該月の日数／月」
- ② 設定方法 : 設定しない。
- ③ 点検方法 : なし

※4: 計画相談支援において異動年月日の年月が平成24年4月以降の場合は、計画相談支援対象者が利用する障害福祉サービスの支給決定又は地域相談支援給付決定の有効期間のうち最長の有効期間と同一の期間を設定する。

※B: 「インタフェース仕様書 市町村編 I. 障害福祉サービス等 1.2 インタフェース一覧」参照。

※C: 「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y: 「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z: 「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照

1. 3. 3 市町村異動連絡票情報(基本情報) (E161)

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	必須入力(※1)			備考
					新規	変更	終了	
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	◎	◎	※B
2	異動年月日	コード値	8	市町村異動連絡票情報(基本情報)に変更等が生じた年月(西暦年月(YYYYMM))と連番(異動順)を設定する	◎	◎	◎	※Y
3	異動区分コード	コード値	1	異動区分コードを設定する	◎	◎	◎	1:新規 2:変更 3:終了
4	異動事由	コード値	2	市町村異動連絡票情報(基本情報)の異動事由を設定する	◎	◎	◎	01(固定値)
5	市町村番号	コード値	6	市町村番号を設定する	◎	◎	◎	※C ※4
6	市町村名(カナ)	英数	40	市町村名カナを設定する	△	△	△	※4
7	市町村名(漢字)	漢字	40	市町村名を全角文字で設定する	◎	◎	◎	※4
8	有効開始日	コード値	8	有効開始日(西暦年月日(YYYYMMDD))を設定する	◎	◎	◎	※2 ※4 ※Y
9	有効終了日	コード値	8	有効終了日(西暦年月日(YYYYMMDD))を設定する			◎	※Y ※4
10	市町村区分	コード値	1	市町村区分を設定する	◎	◎	◎	1:単独市町村 2:政令市 3:都道府県 ※3 ※4
11	郵便番号	コード値	7	郵便番号を設定する	◎	◎	◎	※4
12	電話番号	英数	15	市町村の電話番号を設定する	◎	◎	◎	※4
13	住所(カナ)	英数	75	市町村の住所をカナ文字で設定する	△	△	△	※4
14	住所(漢字)	漢字	128	市町村の住所を全角文字で設定する	◎	◎	◎	※4

※1:異動区分コードにより入力必須項目が異なる。

(◎:必須、○:パターン毎に必須、△:任意設定、空白:不要)

※2:有効開始日は、障害者自立支援法の障害福祉サービスの給付に係わる各種業務を行うものとして、その効力が発生した日付であり、情報の登録(変更)日ではない。仮に市町村の所在地や連絡先等に変更が生じた場合であっても有効開始日に変更はない。

※3:政令市が受給者を行政区で分けて管理せず、単独市町村とする場合は、1を設定する。

※4:処遇改善助成金(※5)の障害福祉サービスの請求事務に関連して、都道府県が本インターフェースを使用し、国保連合会へ都道府県の情報を提出する。そのため、各項目には都道府県の内容を設定する(市町村番号には、都道府県等番号を設定し、市町村区分には、「3:都道府県」を設定する等)。なお、処遇改善助成金(※5)は平成21年10月のサービス提供分からの開始であるため、有効開始日には、「20091001」を設定する。

※5:異動年月日の年月が平成24年3月までの処遇改善助成金。

※B:「インターフェース仕様書 市町村編 I. 障害福祉サービス等 1.2 インターフェース一覧」参照。

※C:「インターフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y:「インターフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z:「インターフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

2. 1. 2 過誤情報受け渡し概要

市町村	国保連合会
<p>1. サービス事業所から過誤申立の依頼があった場合、または市町村が過誤を発見した場合は、市町村は、過誤申立書情報を国保連合会へ提出する。なお、都道府県から処遇改善助成金の過誤申立の依頼があった場合は、市町村は、過誤申立書情報を国保連合会へ提出する。</p> <p>3. 市町村は、エラー内容の修正を行い、国保連合会に翌月(受付期間に間に合えば当月)提出する。</p>	<p>2. 国保連合会は、受け付けた過誤申立書情報の内容チェックを実施し、エラーを発見した場合は取込エラーリスト、受付点検エラーリストを提供し、市町村へ再提出依頼を出す。</p> <p>4. 過誤申立書情報に基づき過誤調整を行い、市町村へ過誤決定通知書情報を提供する。(※1、2)</p>
<p>備考</p> <p>※1: 提出された過誤申立書情報を基にして、当該サービスの情報を給付実績から参照する。</p> <p>※2: 処遇改善助成金(※3)に関する過誤の情報は国保連合会から都道府県に提供される。 詳細は、「インタフェース仕様書 都道府県編 I. 障害福祉サービス等 2.2 インタフェース一覧」と「インタフェース仕様書 都道府県編 II. 障害児支援 2.2 インタフェース一覧」参照。</p> <p>※3: サービス提供年月が平成24年3月までの処遇改善助成金。</p>	

項番	項目名		属性 (※Z)	バイト 数	内容	出力対象項目(※1)					備考	
						J121	J131	J141	J221	L121		
19	上限額 管理事業所	指定事業所番号	コード値	10	上限額管理事業所の 事業所番号を設定す る	○	○		○		※C	
20		管理結果	コード値	1	上限額管理結果票の 管理結果を設定する	○	○		○		※3	
21		管理結果額	数値	5	上限額管理結果票の 管理結果額を設定す る	○	○		○			
22	日中 支援加 算欄	指定事業所番号	コード値	10	連絡調整を行った日 中介護事業所の事業 所番号を設定する		○				※C	
23		当該事業所への 通所日数	数値	2	日中介護事業所への 通所日数を設定する		○					
24	請求額 集計欄 合計	給付単位数	数値	9	単位数の合計を設定 する	◎	◎	◎	◎	◎		
25		総費用額	数値	10	サービスの総費用額 の合計を設定する	◎	◎	◎	◎	◎		
26		上限月額調整(① ②の内少ない数)	数値	6	上限月額調整(①② の内少ない数)の合計 を設定	◎	◎		◎			
27		A型 減免	事業者 減免額	数値	6	A型事業者減免額を 設定	○					
28			減免後利用 者負担額	数値	6	A型減免後の利用者 負担額を設定	○					
29		調整後利用者 負担額	数値	6	調整後利用者負担額 を設定する	○	○		○			
30		上限額管理後 利用者負担額	数値	6	上限額管理後利用者 負担額	○	○		○			
31		決定利用者 負担額	数値	6	算定した結果の利用 者負担額を設定する (自治体助成分請求 額を控除する前の利 用者負担額である)	◎	◎		◎	◎		
32		給付費	数値	10	給付費の請求額を設 定	◎	◎	◎	◎	◎		
33		高額障害福 祉サービス費	数値	10	高額障害福祉サービ ス費を設定				○			
34	請求額 特別対策費	数値	10	サービス提供年月が 平成24年4月以降 は、事業運営安定化 に係る請求額を設定 サービス提供年月が 平成21年10月以降 は、事業運営安定化 および、移行時運営 安定化に係る請求額 を設定 サービス提供年月が 平成21年9月以前 は、特別対策費であ る激変緩和加算に係 る請求額を設定	○	○		○				

項番	項目名		属性 (※2)	バイト 数	内容	出力対象項目 (※1)					備考				
						J121	J131	J141	J221	L121					
										定率 負担		定額 負担			
17	利用者負担額② (サービス提供年月が平成24年3月以前:給付率に基づく利用者負担額②)		数値	6	1割相当額を設定する(サービス提供年月が平成24年3月以前:総費用額-給付率に基づく請求額)	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	※10
18	上限月額調整(①②の内少ない数)		数値	6	利用者負担上限月額と利用者負担額②のうち少ないほうを設定する	◎	◎		◎						
19	A型減免	事業者減免額	数値	6	A型事業者減免額を設定	○									
20		減免後利用者負担額	数値	6	A型減免後の利用者負担額を設定	○									
21	調整後利用者負担額		数値	6	調整後利用者負担額を設定する	○	○		○						
22	上限額管理後利用者負担額		数値	6	上限額管理後利用者負担額を設定する	○	○		○						
23	決定利用者負担額		数値	6	算定した結果の利用者負担額を設定する(自治体助成分請求額を控除する前の利用者負担額である)	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
24	請求額集計欄	給付費	数値	10	給付費の請求額を設定	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
25		高額障害福祉サービス費	数値	10	高額障害福祉サービス費の請求額を設定する				○						
26		特別対策費	数値	10	サービス提供年月が平成24年4月以降は、事業運営安定化に係る請求額を設定 サービス提供年月が平成21年10月以降は、事業運営安定化および、移行時運営安定化に係る請求額を設定 サービス提供年月が平成21年9月以前は、特別対策費である激変緩和加算に係る請求額を設定	○	○		○						
27	自治体助成分請求額		数値	6	利用者負担額のうち自治体が助成する額を設定する	○	○		○						※4
28	特定障害者特別給付費	算定日額	数値	4	サービス種類ごとに算定する日額を設定する	○									※5
29		日数	数値	2	サービス種類ごとに算定する日数を設定する	○									※5
30		給付費請求額	数値	5	サービス種類ごとに給付費請求額を設定する	○	○								※5
31		実費算定額	数値	6	サービス種類ごとに実費算定額を設定する	○	○								※5

項番	項目名	属性 (※2)	バイト 数	内容	出力対象項目 (※1)						備考	
32	利用日数管理票	対象期間(開始)	コード値	6	利用日数の特例開始年月 (西暦年月 YYYYMM を設定 する)	○			○			※6 ※Y
33		対象期間(終了)	コード値	6	利用日数の特例終了年月 (西暦年月 YYYYMM を設定 する)	○			○			※6 ※Y
34		当月の利用日数	数値	2	当月の利用日数	○			○			※6
35		原則日数の総和	数値	3	対象期間における原則日数 の総和を設定する	○			○			※6
36	受付年月	コード値	6	請求受付年月(西暦年月 YYYYMM)を設定する	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	※Y
37	点検結果	コード値	1	点検結果を設定する	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	1:正常 2:警告 3:エラー 4:過誤 5:過誤 の取下

※1:出力対象項目 ◎:出力対象項目、○:請求内容により出力対象となる項目

△:事業所の設定状況により出力対象となる項目、空白:出力対象外項目

※2:「インタフェース仕様書 市町村編 I. 障害福祉サービス等 2.3.1(4)入力識別番号一覧」参照。

※3:【サービス提供年月が平成24年4月以降の場合】

- 1 : 2および4以外の情報は1を設定する。
- 2 : 同一サービス種類で単位数単価が異なる場合、2を設定する。具体的には単位数単価が10円以外の地域に所在する事業所において、児童移行者に対して下記サービスを行った場合となる。
 - ①重度障害児支援加算
 - ②重度重複障害児加算
 - ③強度行動障害児特別支援加算
 - ④自活訓練加算
- 4 : 同一サービス種類で給付率が異なる場合(事業運営安定化に係る請求額)

【サービス提供年月が平成21年10月以降平成24年3月以前の場合】

1 : 2、4および6以外の情報は1を設定する。

2 : 同一サービス種類で単位数単価が異なる場合

例1 : 単位数単価が10円以外の地域に所在する旧身体障害者療護施設において入所を行った場合で、遷延性意識障害者加算又は筋萎縮性側索硬化症等障害者加算がある場合、遷延性意識障害者加算又は筋萎縮性側索硬化症等障害者加算については、集計欄分類番号=2で集計する。

例2 : 単位数単価が10円以外の地域に所在する事業所において1枚の明細書に「旧指定特定身体障害者入所授産施設」における通所サービスおよび、「旧指定特定身体障害者通所授産施設」における通所サービスを集計する場合、「旧指定特定身体障害者入所授産施設」における通所サービスを集計欄分類番号=1で集計する。また、「旧指定特定身体障害者通所授産施設」における通所サービスを集計欄分類番号=2で集計する。1枚の明細書にどちらか片方を集計する場合は、通常通り、集計欄分類番号=1で集計する。

例3 : 単位数単価が10円以外の地域に所在する事業所において1枚の明細書に「旧指定知的障害者入所更生施設」における通所サービスおよび、「旧指定知的障害者通所更生施設」における通所サービスを集計する場合、「旧指定知的障害者入所更生施設」における通所サービスを集計欄分類番号=1で集計する。「旧指定知的障害者通所更生施設」における通所サービスを集計欄分類番号=2で集計する。1枚の明細書にどちらか片方を集計する場合は、通常通り、集計欄分類番号=1で集計する。

4 : 同一サービス種類で給付率が異なる場合(事業運営安定化および、移行時運営安定化に係る請求額)

6 : 2の例2および例3におけるパターンで「旧指定特定身体障害者通所授産施設」および「旧指定知的障害者通所更生施設」における事業運営安定化に係る請求額を集計欄分類番号=6で集計する(「旧指定特定身体障害者入所授産施設」および「旧指定知的障害者入所更生施設」における事業運営安定化に係る請求額を集計欄分類番号=4で集計することとなる)。

【サービス提供年月が平成21年4月以降9月以前の場合】

1 : 2、4および6以外の情報は1を設定する。

2 : 同一サービス種類で単位数単価が異なる場合

例1 : 単位数単価が10円以外の地域に所在する旧身体障害者療護施設において入所を行った場合で、遷延性意識障害者加算又は筋萎縮性側索硬化症等障害者加算がある場合、遷延性意識障害者加算又は筋萎縮性側索硬化症等障害者加算については、集計欄分類番号=2で集計する。

例2 : 単位数単価が10円以外の地域に所在する事業所において1枚の明細書に「旧指定特定身体障害者入所授産施設」における通所サービスおよび、「旧指定特定身体障害者通所授産施設」における通所サービスを集計する場合、「旧指定特定身体障害者入所授産施設」における通所サービスを集計欄分類番号=1で集計する。また、「旧指定特定身体障害者通所授産施設」における通所サービスを集計欄分類番号=2で集計する。1枚の明細書にどちらか片方を集計する場合は、通常通り、集計欄分類番号=1で集計する。

- 6 : 2の例2および例3におけるパターンで「旧指定特定身体障害者通所授産施設」および「旧指定知的障害者通所更生施設」における特別対策事業の激変緩和加算を集計欄分類番号=6で集計する(「旧指定特定身体障害者入所授産施設」および「旧指定知的障害者入所更生施設」における特別対策事業の激変緩和加算を集計欄分類番号=4で集計することとなる)。

※4: 自治体助成分請求額設定ルール

自治体助成分請求額の計算方法としては、国制度(利用者負担額調整など)を適用した後の決定利用者負担額に対してサービス種類ごとに定率を助成する方式とする。

自治体助成分請求額＝決定利用者負担額×市町村助成率(小数点以下切捨)

例)生活介護と居宅介護のサービス提供を受ける利用者で、居宅介護の利用者負担額のうち半分を市町村が助成する場合

	生活介護	居宅介護
決定利用者負担額	7,500	4,800
自治体助成分請求額		2,400

4,800(円) × 50(%)

↓
 実際の利用者負担額は、7,500+4,800-2,400=9,900 となる。

※5: 集計欄分類番号=1のレコードのみに設定が必要である。

※6: 利用日数管理票情報は、日中活動サービス(生活介護、旧法施設支援(通所)、自立訓練(機能訓練・生活訓練)、就労移行支援、就労継続支援)において利用日数の特例を利用する場合に、その対象期間中毎月設定する。集計欄分類番号=1のレコードのみに設定が必要である。

※7: L121 地域生活支援事業明細書情報の場合、サービス提供年月が平成 24 年 4 月以降でも「請求額」と読み替えて使用する。

定率負担の場合の請求額＝総費用額×給付率／100(小数点以下切捨)。

定額負担の場合の請求額＝総費用額－給付率に基づく利用者負担額②。

※8: 定率負担の場合の利用者負担額②＝総費用額－給付率に基づく請求額。

定額負担の場合の利用者負担額②＝サービスコードごとに設定された利用者負担額×そのサービスコードの回数

※9: 利用者負担の上限調整を行うなどの理由で利用者負担額の調整が必要な場合には決定利用者負担額にて調整を行うこととする。

※10: 法第三十一条が適用される場合、「市町村が定める額」もしくは「1割相当額」のうち小さい額を設定する。

※11: L121 地域生活支援事業明細書情報の場合、サービス提供年月が平成 24 年 4 月以降でも給付率を設定する。

※12: 地域定着支援において、体制確保のみの場合は、「0」を設定する。

※B:「インタフェース仕様書 市町村編 I. 障害福祉サービス等 2.2 インタフェース一覧」参照。

※C:「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y:「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z:「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

⑥ 点検済サービス利用計画作成費請求書／点検済計画相談支援給付費請求書／点検済
 特例計画相談支援給付費請求書情報 明細情報レコード（複数レコード）

項番	項目名		属性 (※Z)	バイト 数	内容	出力対象項目 (※1)	備考
						J311,J312,J321	
1	交換情報識別番号		英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B
2	入力識別番号		英数	4	入力元の交換情報識別番号を設定する	◎	※2
3	レコード種別コード		コード 値	2	02を設定する(明細情報レコード)	◎	
4	サービス提供年月		コード 値	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMMを設定する)	◎	※Y
5	市町村番号		コード 値	6	受給者証に記載された市町村番号(チェック デジット1桁含む)	◎	※C
6	事業所番号		コード 値	10	サービスを提供した事業所番号	◎	※C
7	項番		数値	4	1からの連番を設定する	◎	
8	受給者証番号		英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号	◎	※C
9	支給決定者氏名カナ		英数	25	支給決定者カナ氏名	△	
10	支給決定児童氏名カナ		英数	25	支給決定児童カナ氏名	△	
11	モニタリング日		コード 値	8	サービス利用支援の場合は計画作成日、 継続サービス利用支援の場合は直近の モニタリング日を設定する(西暦年月日 YYYYMMDDを設定する)	○	※Y
12	請求 額計 算欄	サービスコード	コード 値	6	サービスコードを設定	◎	※C
13		単位数	数値	4	単位数を設定	◎	
14		請求額	数値	6	明細1行ごとの請求額を設定 (小数点以下切捨て)	◎	
15	単位数単価		数値	5	整数部2桁、小数部3桁の半角数字 8.5 円の場合、08500(または 8500)を 設定する	◎	
16	受付年月		コード 値	6	請求受付年月(西暦年月 YYYYMM)を設定 する	◎	※Y
17	点検結果		コード 値	1	点検結果を設定する	◎	1:正常 2:警告 3:エラー 4:過誤 5:過誤 の取下

※1:出力対象項目 ◎:出力対象項目、○:請求内容により出力対象となる項目

△:事業所の設定状況により出力対象となる項目、空白:出力対象外項目

※2:「インタフェース仕様書 市町村編 I. 障害福祉サービス等 2.3.1(4)入力識別番号一覧」参照。

※B:「インタフェース仕様書 市町村編 I. 障害福祉サービス等 2.2 インタフェース一覧」参照。

※C:「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y:「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z:「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

⑦ 点検済サービス提供実績記録票情報 基本情報レコード

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考	
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	※B	
2	入力識別番号	英数	4	入力元の交換情報識別番号を設定する	※1	
3	レコード種別コード	コード値	2	01を設定する(基本情報レコード)		
4	サービス提供年月	コード値	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMMを設定する)	※Y	
5	市町村番号	コード値	6	受給者証に記載された市町村番号(チェックデ ジット1桁含む)	※C	
6	事業所番号	コード値	10	サービスを提供した事業所番号	※C	
7	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号	※C	
8	様式種別番号	コード値	4	様式番号 2 桁、枝番 2 桁を設定	※2	
9	補足給付関係情報	補足給付適用の有無	コード値	1	1:無し 2:有り	
10		補足給付額(円/日)	数値	4	補足給付適用の有無が有りの場合に、一 日単位の補足給付額を設定	
11		食費の単価 朝食 (円/日)	数値	5	補足給付適用の有無が有りの場合に、朝 食の単価を設定(契約が毎食毎の場合)	
12		食費の単価 昼食 (円/日)	数値	5	補足給付適用の有無が有りの場合に、昼 食の単価を設定(契約が毎食毎の場合)	
13		食費の単価 夕食 (円/日)	数値	5	補足給付適用の有無が有りの場合に、夕 食の単価を設定(契約が毎食毎の場合)	
14		食費の単価 一日 (円/日)	数値	5	補足給付適用の有無が有りの場合に、一 日単位の単価を設定(契約が1日単位の場 合)	
15		光熱水費の単価 一日 (円/日)	数値	6	補足給付適用の有無が有りの場合に、日 単位の光熱水費単価を設定 (契約が一日単位の場 合)	
16		光熱水費の単価 一月 (円/月)	数値	6	補足給付適用の有無が有りの場合に、一 月単位の光熱水費単価を設定 (契約が一月単位の場 合)	
17	合計1(身体介護・行動援護・重度訪問)	内訳 100%	数値	5	1・2 級ヘルパー等による実績時間数を整数 部 3 桁+小数部 2 桁で設定。例:99. 5→0 9950(または 9950)	
18		内訳 70%	数値	5	3 級ヘルパー、減算対象ヘルパー等による 実績時間数を整数部 3 桁+小数部 2 桁で 設定。例:99. 5→09950(または 9950)	
19		内訳 重訪	数値	5	重度訪問介護研修修了者による時間数を 整数部 3 桁+小数部 2 桁で設定。例:99. 5→09950(または 9950)	
20		合計 算定時間数計	数値	5	算定時間数の合計を整数部 3 桁+小数部 2 桁で設定。例:99. 5→09950(または 9950)	

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考
21	合計2(通院介護(伴う)、 同行援 護(伴う))	内訳 100%	数値	5	1・2級ヘルパー等による実績時間数を整数部3桁+小数部2桁で設定。例:99.5→09950(または9950)
22		内訳 70%	数値	5	3級ヘルパー等による実績時間数を整数部3桁+小数部2桁で設定。例:99.5→09950(または9950)
23		内訳 重訪	数値	5	重度訪問介護研修修了者による時間数を整数部3桁+小数部2桁で設定。例:99.5→09950(または9950)
24		合計 算定時間数計	数値	5	算定時間数の合計を整数部3桁+小数部2桁で設定。例:99.5→09950(または9950)
25	合計3(家事援助)	内訳 100%	数値	5	1・2級ヘルパー等による実績時間数を整数部3桁+小数部2桁で設定。例:99.25→09925(または9925)
26		内訳 90%	数値	5	3級ヘルパー等による実績時間数を整数部3桁+小数部2桁で設定。例:99.25→09925(または9925)
27		合計 算定時間数計	数値	5	算定時間数の合計を整数部3桁+小数部2桁で設定。例:99.25→09925(または9925)
28	合計4(通院介護(伴ず)、 同行援 護(伴ず))	内訳 100%	数値	5	1・2級ヘルパー等による実績時間数を整数部3桁+小数部2桁で設定。例:99.5→09950(または9950)
29		内訳 90%	数値	5	3級ヘルパー等による実績時間数を整数部3桁+小数部2桁で設定。例:99.5→09950(または9950)
30		合計 算定時間数計	数値	5	算定時間数の合計を整数部3桁+小数部2桁で設定。例:99.5→09950(または9950)
31	合計5(通院等乗降介助)	内訳 100%	数値	3	1・2級ヘルパー等による実績回数を設定
32		内訳 90%	数値	3	3級ヘルパー等による実績回数を設定
33		合計 算定回数計	数値	3	算定回数の合計を設定
34	提供実績の合計	算定 移動介護分	数値	3	移動介護の時間数を整数部2桁+小数部1桁で設定(例:10.5時間→105)。移動介護の時間数が100時間を超える場合は999を設定(例:100時間→999)。 なお、サービス提供年月が平成21年3月以前の実績記録票は、移動介護の時間数を整数部3桁で設定
35		実績 送迎加算(回)	数値	2	片道単位の送迎回数を設定
36		実績 家庭連携加算(回) (サービス提供回数)	数値	2	家庭連携加算のサービス提供回数を設定
37		実績 家庭連携加算(回) (算定回数)	数値	2	家庭連携加算の算定回数を設定
38		合計 算定日数(日)	数値	2	算定日数の合計を設定

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考
39	夜間支援体制加算(回)	数値	2	共同生活介護において、夜間支援体制加算の算定回数を設定。共同生活援助、宿泊型自立訓練において、夜間防災・緊急時支援体制加算の算定回数を設定。同一日に夜間防災・緊急時支援体制加算(Ⅰ)と(Ⅱ)を算定する場合は、1回とカウントする。 (サービス提供年月が平成24年3月以前:共同生活介護において、夜間支援体制加算の回数を設定。共同生活援助において、夜間防災体制加算の回数を設定。)	
40	日中支援加算(回) (サービス提供回数)	数値	2	日中支援加算のサービス提供回数を設定	
41	日中支援加算(回) (算定回数)	数値	2	日中支援加算の算定回数を設定	
42	通所型(回)	数値	2	通所型の回数を設定	
43	訪問型 1時間未満(回)	数値	2	訪問型 1時間未満の回数を設定 ただし、訪問型(視覚)は合計しない	
44	訪問型 1時間以上(回)	数値	2	訪問型 1時間以上の回数を設定 ただし、訪問型(視覚)は合計しない	
45	短期滞在加算(回)	数値	2	短期滞在加算の回数を設定	
46	食事提供加算(回)	数値	2	食事提供加算の提供回数を設定	
47	入院・外泊時加算(回)	数値	2	加算を算定する回数を設定	
48	入院時支援特別加算(回) (サービス提供回数)	数値	2	入院時支援特別加算のサービス提供回数の合計を設定	
49	入院時支援特別加算(回) (算定回数)	数値	2	入院時支援特別加算の算定回数の合計を設定	
50	自立生活支援加算(回)	数値	2	自立生活支援加算の回数の合計を設定	
51	自活訓練加算(回)	数値	2	自活訓練加算の回数を設定	
52	訪問支援特別加算(回) (サービス提供回数)	数値	2	訪問支援特別加算のサービス提供回数の合計を設定	
53	訪問支援特別加算(回) (算定回数)	数値	2	訪問支援特別加算の算定回数の合計を設定	
54	施設外支援 当月(日)	数値	2	就労移行支援において、当月の移行準備支援体制加算(Ⅰ)を行った日数を設定(サービス提供年月が平成24年3月以前:当月の施設外支援を行った日数を設定) 就労継続支援において、当月の施設外支援を行った日数を設定	
55	施設外支援 累計 (日/180日)	数値	3	就労移行支援において、移行準備支援体制加算(Ⅰ)の累計日数を設定(サービス提供年月が平成24年3月以前:累計の施設外支援の日数を設定) 就労継続支援において、施設外支援の累計日数を設定	
56	帰宅時支援加算(回) (サービス提供回数)	数値	2	帰宅時支援加算のサービス提供回数の合計を設定	

提供実績の合計

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考
79	支給決定量(単位)	数値	6	受給者証の支給決定量を設定	
80	報酬請求額(円)	数値	7	当月の報酬請求額を設定	
81	利用者負担上限月額(円)	数値	6	受給者証の利用者負担上限月額を設定	
82	利用者負担額(円)	数値	6	当月の利用者負担額を設定	
83	共同生活介護合計日数	数値	2	共同生活介護の合計日数を設定	
84	短期入所合計日数	数値	2	短期入所の合計日数を設定	
85	その他サービス合計 時間数	数値	5	その他サービスの合計時間数を整数部 3 桁+小数部 2 桁を設定。例:99.5→099 50(または 9950)	
86	当該月の日数	数値	2	当該月の日数を設定	
87	サービス担当者会議 開催日	コード値	8	サービス担当者会議開催日(西暦年月日 (YYYYMMDD))を設定する	※Y
88	第1時間帯 早朝	数値	3	第1時間帯の早朝時間数を設定	
89	第1時間帯 日中	数値	3	第1時間帯の日中時間数を設定	
90	第1時間帯 夜間	数値	3	第1時間帯の夜間時間数を設定	
91	第1時間帯 深夜	数値	3	第1時間帯の深夜時間数を設定	
92	第2時間帯 早朝	数値	3	第2時間帯の早朝時間数を設定	
93	第2時間帯 日中	数値	3	第2時間帯の日中時間数を設定	
94	第2時間帯 夜間	数値	3	第2時間帯の夜間時間数を設定	
95	第2時間帯 深夜	数値	3	第2時間帯の深夜時間数を設定	
96	第3時間帯 早朝	数値	3	第3時間帯の早朝時間数を設定	
97	第3時間帯 日中	数値	3	第3時間帯の日中時間数を設定	
98	第3時間帯 夜間	数値	3	第3時間帯の夜間時間数を設定	
99	第3時間帯 深夜	数値	3	第3時間帯の深夜時間数を設定	
100	第4時間帯 早朝	数値	3	第4時間帯の早朝時間数を設定	
101	第4時間帯 日中	数値	3	第4時間帯の日中時間数を設定	
102	第4時間帯 夜間	数値	3	第4時間帯の夜間時間数を設定	
103	第4時間帯 深夜	数値	3	第4時間帯の深夜時間数を設定	
104	第5時間帯 早朝	数値	3	第5時間帯の早朝時間数を設定	
105	第5時間帯 日中	数値	3	第5時間帯の日中時間数を設定	
106	第5時間帯 夜間	数値	3	第5時間帯の夜間時間数を設定	
107	第5時間帯 深夜	数値	3	第5時間帯の深夜時間数を設定	
108	第6時間帯 早朝	数値	3	第6時間帯の早朝時間数を設定	
109	第6時間帯 日中	数値	3	第6時間帯の日中時間数を設定	
110	第6時間帯 夜間	数値	3	第6時間帯の夜間時間数を設定	
111	第6時間帯 深夜	数値	3	第6時間帯の深夜時間数を設定	
112	施設種類	コード値	2	設定しない	
113	受付年月	コード値	6	請求受付年月(西暦年月 YYYYMM)を設定 する	※Y

⑧ 点検済サービス提供実績記録票情報 明細情報レコード（複数レコード）

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	※B
2	入力識別番号	英数	4	入力元の交換情報識別番号を設定する	※1
3	レコード種別コード	コード値	2	02を設定する(明細情報レコード)	
4	サービス提供年月	コード値	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMM を設定する)	※Y
5	市町村番号	コード値	6	受給者証に記載された市町村番号(チェックデジット1桁含む)	※C
6	事業所番号	コード値	10	サービスを提供した事業所番号	※C
7	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号	※C
8	様式種別番号	コード値	4	様式番号 2 桁、枝番 2 桁を設定 様式3-1の場合、0301 を設定	※2
9	提供通番	数値	3	居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護において、複数の明細情報レコード(サービス提供時間)が一連のサービス提供であることを識別するための番号	※3
10	日付	コード値	2	日を設定(短期入所の場合、サービス提供を行った全ての日を設定する)	
11	サービス提供回数	数値	2	日付の中でサービスを提供した順を設定	※4
12	サービス内容	コード値	6	居宅介護、同行援護、および重度包括のサービス種別を判定する為に、決定コード 6 桁を設定	
13	ヘルパー資格	コード値	2	資格要件対象のサービスのみ設定 居宅介護(11:1・2級等 12:3級等 13:重訪) 同行援護(11:1・2級等 12:3級等) 行動援護(21:1・2級等 22:減算)	※7
14	運転フラグ	コード値	1	運転を表す場合、1を設定	
15	開始時間	数値	4	開始時間を数字 4 桁で設定 例)10:00→1000	
16	終了時間	数値	4	終了時間を数字 4 桁で設定 例)11:00→1100	
17	算定時間数	数値	4	算定時間数を設定(整数部 2 桁+小数部 2 桁を設定、例:10.25→1025)	
18	乗降(回数)	数値	2	乗降介助の回数を設定	
19	移動	数値	2	重度訪問介護の移動に係る算定時間数を整数部1桁+小数部1桁で設定(例:3時間→30)。 なお、サービス提供年月が平成 21 年 3 月以前の実績記録票は、実際の移動時間数を整数部2桁で設定(例:3時間→03)。	
20	派遣人数	数値	1	通常は‘1’を設定 同一時間に 2 人ヘルパーでサービス提供を行った場合‘2’を設定	
21	前月からの継続サービス	コード値	1	居宅介護、同行援護において、前月から継続したサービス提供を行った場合、1を設定する	
22	送迎加算 往	数値	1	送迎(往路)を行った回数を設定	
23	送迎加算 復	数値	1	送迎(復路)を行った回数を設定	
24	家庭連携加算 (サービス提供時間数)	数値	4	実際に支援に要した時間数を設定(整数部 2 桁+小数部 2 桁を設定、例:1.5時間→0150(または150))	

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考
25	家庭連携加算 (算定時間数)	数値	2	算定する時間数を設定	
26	自活訓練加算	コード値	1	加算を算定する場合1を設定	
27	短期滞在加算	コード値	1	加算を算定する場合1を設定	
28	訪問支援特別加算 (サービス提供時間数)	数値	4	実際にサービス提供した時間数を設定(整数部2桁 +小数部2桁を設定、例:1.5時間→0150(または 150))	
29	訪問支援特別加算 (算定時間数)	数値	2	算定する時間数を設定	
30	施設外支援	コード値	1	就労移行支援において、移行準備支援体制加算 (Ⅰ)を算定する場合、1を設定。移行準備支援体 制加算(Ⅱ)を算定する場合、2を設定 (サービス提供年月が平成24年3月以前:施設外 支援を行った場合、1を設定) 就労継続支援において、施設外支援を行った場 合、1を設定	
31	退所時特別支援加算	コード値	1	退所時特別支援加算を行った場合、1を設定	
32	地域移行加算	コード値	1	地域移行加算を行った場合、1を設定	
33	食事提供加算	コード値	1	加算対象となる低所得者に対して食事を提供した 場合1を設定	
34	入院・外泊時加算	コード値	1	入院・外泊時加算(Ⅰ)を算定する場合、1を設定 入院・外泊時加算(Ⅱ)を算定する場合、2を設定 (サービス提供年月が平成24年3月以前:加算を 算定する場合、1を設定)	
35	提供形態	コード値	1	1:通所型 2:訪問型 3:訪問型(視覚)	
36	備考	漢字	100	備考欄に記載が必要な場合、設定	※5
37	サービス提供の状況	コード値	1	様式種別番号ごとに定められたサービス提供の状 況を表すコード1桁を設定	※8
38	夜間支援体制加算	コード値	1	共同生活介護において、夜間支援体制加算(Ⅰ)を 算定する場合、1を設定。夜間支援体制加算(Ⅱ) を算定する場合、2を設定 共同生活援助、宿泊型自立訓練において、夜間防 災・緊急時支援体制加算(Ⅰ)を算定する場合、1を 設定。夜間防災・緊急時支援体制加算(Ⅱ)を算定 する場合、2を設定。夜間防災・緊急時支援体制加 算(Ⅰ)、夜間防災・緊急時支援体制加算(Ⅱ)の両 方を算定する場合、3を設定 (サービス提供年月が平成24年3月以前:共同生 活介護において、夜間支援体制加算を算定する場 合、1を設定。共同生活援助において、夜間防災体 制加算を算定する場合、1を設定)	
39	入院時支援特別加算 (サービス提供回数)	コード値	1	入院時支援特別加算の算定要件を満たす支援を 行った場合1を設定(報酬上算定できる回数にかか わらず、要件を満たす場合は設定する)	
40	入院時支援特別加算 (算定回数)	コード値	1	入院時支援特別加算の報酬上算定できる回数を設 定する	
41	帰宅時支援加算 (サービス提供回数)	コード値	1	帰宅時支援加算の算定要件を満たす支援を行った 場合1を設定(報酬上算定できる回数にかかわら ず、要件を満たす場合は設定する)	

項番	項目名		属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考
42	帰宅時支援加算 (算定回数)		コード値	1	帰宅時支援加算の報酬上算定できる回数を設定する	
43	自立生活支援加算		コード値	1	自立生活支援加算を算定する場合、1を設定する	
44	日中支援加算 (サービス提供回数)		コード値	1	日中支援加算の算定要件を満たす支援を行った場合1を設定。報酬上算定できる回数にかかわらず、要件を満たす場合は設定する。	
45	日中支援加算 (算定回数)		コード値	1	日中支援加算の報酬上算定できる回数を設定する	
46	算定日数		コード値	1	短期入所において、算定対象日に1を設定 施設入所支援において、土日等日中支援加算の算定日に1を設定(サービス提供年月が平成24年3月まで) 地域移行支援において、本体報酬及び集中支援加算の対象となる支援を実施した日に1を設定	
47	自立訓練 訪問型時間数		数値	4	訪問型自立訓練を提供した場合、(提供形態が2:訪問型もしくは、3:訪問型(視覚)の場合)その時間数を整数部2桁小数部2桁で設定する(様式には本項目は無いがインターフェースには設定する)	
48	実費算定	朝食	コード値	1	補足給付適用の有無が有りの場合で、利用契約に従って朝食を提供した場合1を設定	※6
49		昼食	コード値	1	補足給付適用の有無が有りの場合で、利用契約に従って昼食を提供した場合1を設定	※6
50		夕食	コード値	1	補足給付適用の有無が有りの場合で、利用契約に従って夕食を提供した場合1を設定	※6
51		光熱水費	コード値	1	補足給付適用の有無が有りの場合で、利用契約に従って、光熱水費を徴集する日に1を設定	
52	重度包括	適用単価	数値	3	適用単価を設定	
53		基本単位数	数値	4	基本単位数を設定	
54		加算	コード値	1	1:早朝 3:夜間 4:深夜 5:早朝・喀痰吸引等 6:喀痰吸引等 7:夜間・喀痰吸引等 8:深夜・喀痰吸引等	※9
55		加算後単位数	数値	4	加算後単位数を設定	
56		単位数	数値	4	単位数を設定	
57	1日計		数値	5	1日計を設定 同一日に複数サービスを提供する場合には、最終行に設定する。最終行とは「サービス開始時間」の昇順に並び替えた場合の最終行である。ただし、サービス提供時間を設定しない入所系サービス(短期入所、共同生活介護)の提供があった場合には、入所系サービスが最終行となる。	

項番	項目名	属性 (※Z)	ハ 件 数	内容	備考	
58	重度訪問 (様式3-2)	1時間(13時間)	コード値	1	1:早朝 2:日中 3:夜間 4:深夜	
59		2時間(14時間)	コード値	1	1:早朝 2:日中 3:夜間 4:深夜	
60		3時間(15時間)	コード値	1	1:早朝 2:日中 3:夜間 4:深夜	
61		4時間(16時間)	コード値	1	1:早朝 2:日中 3:夜間 4:深夜	
62		5時間(17時間)	コード値	1	1:早朝 2:日中 3:夜間 4:深夜	
63		6時間(18時間)	コード値	1	1:早朝 2:日中 3:夜間 4:深夜	
64		7時間(19時間)	コード値	1	1:早朝 2:日中 3:夜間 4:深夜	
65		8時間(20時間)	コード値	1	1:早朝 2:日中 3:夜間 4:深夜	
66		9時間(21時間)	コード値	1	1:早朝 2:日中 3:夜間 4:深夜	
67		10時間(22時間)	コード値	1	1:早朝 2:日中 3:夜間 4:深夜	
68		11時間(23時間)	コード値	1	1:早朝 2:日中 3:夜間 4:深夜	
69		12時間(24時間)	コード値	1	1:早朝 2:日中 3:夜間 4:深夜	
70	受付年月	コード値	6	請求受付年月(西暦年月 YYYYMM)を設定する	※Y	
71	点検結果	コード値	1	点検結果を設定する	1:正常 2:警告 3:エラー	

※1:「インタフェース仕様書 市町村編 I. 障害福祉サービス等 2.3.1(4) 入力識別番号一覧」参照。

※2:様式番号については「インタフェース仕様書 サービス事業所編 1.2.3.6 サービス提供実績記録票情報 (4)様式と様式種別番号の対応」を参照。また、様式番号に対する出力対象項目については「インタフェース仕様書 サービス事業所編 1.2.3.6 サービス提供実績記録票情報 (6)入力必須項目と様式の対応表(明細情報レコード)」を参照。

※3:居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護において、サービス提供年月内でサービス提供の順に1から通番を採番する。ただし、居宅介護、同行援護においては一連のサービス提供を行った場合(サービス間隔が2時間未満の場合)、一連のサービス提供について同一番号を設定する。また、1日の所要時間を通算して算定する重度訪問介護においては、同一日のサービス提供に対して、同一番号を設定することとなる。さらに、行動援護については1回の外出にかかるサービスについては通算して算定するため1回のサービスに対して同一番号を設定する。2人派遣により行が分かれる場合は、提供通番は別番号を設定する。

※4:二人派遣で時間がずれた場合、二人派遣で1人目と2人目の従業者要件が異なる場合、ヘルパー1人目の行に‘1’、ヘルパー2人目の行に‘2’を設定する。ただし、重度訪問介護(様式3-2)においては、12時間目までの行に‘1’、13時間目以降の行に‘2’を設定する。また、重度訪問介護(様式3-2)において、二人派遣により行が分かれる場合にはヘルパー単位の‘1’、‘2’を設定する。

※5:居宅介護、同行援護における「運転時間」、行動援護における「減算」、施設入所支援、宿泊型自立訓練における「地域移行加算」、旧法(入所/通所/通勤寮)における「退所時特別支援加算」、旧法(通所)/就労継続/就労移行における「施設外支援」、「移行準備支援体制加算」に関しては設定項目を設けている為、備考欄への設定は必要ない。

※6:1日単位の契約の場合は、朝食、昼食、夕食の全てに1を設定。

※7:同行援護において、3級ヘルパー等であっても減算対象とならない者が同行援護を行った場合については、「11:1・2級等」を設定する。

※8:設定値については「インタフェース仕様書 サービス事業所編 1.2.3.6 サービス提供実績記録票
情報 (5)~(12)「入力必須項目と様式の対応表」を参照。

※9:「5:早朝・喀痰吸引等」、「6:喀痰吸引等」、「7:夜間・喀痰吸引等」及び「8:深夜・喀痰吸引等」に
ついては、サービス提供年月が平成 24 年 4 月以降使用する。

※B:「インタフェース仕様書 市町村編 I. 障害福祉サービス等 2.2 インタフェース一覧」参照。

※C:「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y:「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z:「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

2. 3. 4 過誤申立書情報 (EA11)

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	必須入力 (※1)	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B
2	申立年月日	コード値	8	過誤申立の申立年月日（西暦年月日 (YYYYMMDD)）を設定する	◎	※Y
3	事業所番号	コード値	10	サービス提供事業所番号を設定する	◎	※C
4	証記載市町村番号	コード値	6	受給者証に記載された市町村番号を設定する	◎	※C
5	受給者証番号	英数	10	受給者証番号を設定する	◎	※C
6	サービス提供年月	コード値	6	過誤申立の対象となるサービス提供年月（西暦年月(YYYYMM)）を設定する	◎	※Y
7	申立事由コード	英数	4	過誤申立の事由コードを設定する	◎	※2 ※C

※1: 必須入力 ◎: 必須、○: 請求内容により必須、△: 任意設定、空白: 不要

※2: 申立事由コードは、4桁の英数字属性のコードとし、申立情報作成の都度入力を行う。

(1) 過誤申立事由コード構成(上2桁: 様式番号、下2桁: 申立理由番号)は、以下のとおり。

<p>【様式番号】(上2桁)</p> <p>10: 介護給付費・訓練等給付費等明細書(様式第二)</p> <p>11: 介護給付費・訓練等給付費等明細書(様式第三)</p> <p>12: 地域相談支援給付費明細書(様式第五) (サービス提供年月が平成24年4月以降使用)</p> <p>20: サービス利用計画作成費請求書(様式第四) (サービス提供年月が平成24年3月まで使用)</p> <p>21: 計画相談支援給付費請求書(様式第四) (サービス提供年月が平成24年4月以降使用)</p> <p>30: 特例介護給付費・特例訓練等給付費明細書(様式第六)</p> <p>31: 特例計画相談支援給付費請求書(様式第十) (サービス提供年月が平成24年4月以降使用)</p> <p>50: 地域生活支援事業明細書</p>	<p>【申立理由番号】(下2桁)</p> <p>01: 台帳誤り修正による市町村申立の過誤調整</p> <p>02: 請求誤りによる実績取り下げ</p> <p>09: 時効による市町村申立の取り下げ</p> <p>11: 台帳誤り修正による事業所申立の実績取り下げ</p> <p>32: 提供実績記録票誤りによる実績の取り下げ</p> <p>33: 上限の誤りによる実績取り下げ</p> <p>90: その他の事由による台帳過誤</p> <p>99: その他の事由による実績の取り下げ</p>
--	--

(2) 明細書を過誤とした場合は、サービス提供実績記録票および処遇改善助成金(※3)も過誤とする。

(3) 利用者負担上限額管理結果票は過誤対象ではなく、事業所インタフェースで修正/取消を行う。

(4) 請求支払額確定後の利用者負担上限額管理結果票の修正はエラーとなるが、利用者負担上限額管理結果票を修正する場合は、過誤申立を行い、請求明細書と利用者負担上限額管理票を再度提出する。

※3: サービス提供年月が平成24年3月までの処遇改善助成金。

※B: 「インタフェース仕様書 市町村編 I. 障害福祉サービス等 2.2 インタフェース一覧」参照。

※C: 「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y: 「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z: 「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

項番	項目名	属性 (※2)	バイト 数	内容	必須入力 (※1)	備考	
13	障害程度区分情報	障害程度区分コード	英数	2	設定しない		
14		障害程度区分認定 有効期間 (開始年月日)	コード値	8	設定しない		
15		障害程度区分認定 有効期間 (終了年月日)	コード値	8	設定しない		
16	利用者負担上限額情報	所得区分コード	英数	2	決定された所得区分コードを設定する	◎	※C
17		個別減免有無	コード値	1	個別減免の有無を設定する	◎	1:無し 2:有り ※7
18		生保移行防止有無 (定率負担)	コード値	1	生保移行防止有無を設定する	◎	1:無し 2:有り
19		利用者負担上限月額	数値	6	利用者負担上限月額を設定する	◎	※3
20		利用者負担上限月額 有効期間 (開始年月日)	コード値	8	利用者負担上限月額の有効期間の 開始年月日(西暦年月日 (YYYYMMDD))を設定する	◎	※4 ※Y
21		利用者負担上限月額 有効期間 (終了年月日)	コード値	8	利用者負担上限月額の有効期間の 終了年月日(西暦年月日 (YYYYMMDD))を設定する	◎	※Y
22	補足給付情報	補足給付有無	コード値	1	1:無しを設定する	◎	
23		生保移行防止有無 (補足給付)	コード値	1	1:無しを設定する	◎	
24		補足給付額(日額)	数値	4	設定しない		
25		補足給付有効期間 (開始年月日)	コード値	8	設定しない		
26		補足給付有効期間 (終了年月日)	コード値	8	設定しない		

項番	項目名	属性 (※2)	バイト 数	内容	必須入力 (※1)	備考
27	上限額管理有無	コード値	1	上限額管理の有無を設定する	◎	1:無し 2:有り
28	上限額管理 事業所番号	コード値	10	上限額管理を行う事業所番号を設定 する	○	※C
29	上限額管理有効期間 (開始年月日)	コード値	8	上限額管理有効期間の開始年月日 (西暦年月日(YYYYMMDD))を設定す る	○	※Y
30	上限額管理有効期間 (終了年月日)	コード値	8	上限額管理有効期間の終了年月日 (西暦年月日(YYYYMMDD))を設定す る	○	※Y (終了時のみ設定 する)
31	障害児相談支援有無	コード値	1	障害児相談支援有無を設定する	◎	1:無し 2:有り ※9
32	障害児相談支援 事業所番号	コード値	10	障害児相談支援を行う事業所番号を 設定する	○	※C ※6
33	障害児相談支援 有効期間 (開始年月日)	コード値	8	障害児相談支援有効期間の開始年 月日(西暦年月日(YYYYMMDD))を設 定する	○	※Y ※6 ※10
34	障害児相談支援 有効期間 (終了年月日)	コード値	8	障害児相談支援有効期間の終了年 月日(西暦年月日(YYYYMMDD))を設 定する	○	※Y ※6 ※10
35	都道府県等が定める 額の適用有無	コード値	1	法第二十一条の五の十一(災害その 他の厚生労働省令で定める特別の事 情)に基づく市町村が定める額の適 用有無を設定する	◎	1:無し 2:有り ※8
36	都道府県等が定める 額	数値	6	法第二十一条の五の十一(災害その 他の厚生労働省令で定める特別の事 情)に基づく市町村が定める額を設定 する	○	※5
37	都道府県等が定める 額の有効期間 (開始年月日)	コード値	8	法第二十一条の五の十一に基づく市 町村が定める額の開始年月日(西暦 年月日(YYYYMMDD))を設定する	○	※Y ※8
38	都道府県等が定める 額の有効期間 (終了年月日)	コード値	8	法第二十一条の五の十一に基づく市 町村が定める額の終了年月日(西暦 年月日(YYYYMMDD))を設定する	○	※Y ※8
39	特定旧法受給者区分 (経過措置対象者)	コード値	1	設定しない		

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	必須入力 (※1)	備考	
40	独自助成対象者区分	コード値	1	独自助成対象者の場合に設定する	◎	1:対象外 2:対象	
41	介護保険給付対象者有無	コード値	1	設定しない			
42	重度包括支援対象者有無	コード値	1	設定しない			
43	食事提供加算情報	食事提供加算対象者区分	コード値	1	食事提供加算対象者有無を設定する	◎	1:対象外 2:加算(Ⅰ)対象 3:加算(Ⅱ)対象
44		食事提供加算適用有効期間(開始年月日)	コード値	8	食事提供加算適用有効期間の開始年月日(西暦年月日(YYYYMMDD))を設定する	○	※Y
45		食事提供加算適用有効期間(終了年月日)	コード値	8	食事提供加算適用有効期間の終了年月日(西暦年月日(YYYYMMDD))を設定する	○	※Y

※1: 必須入力 ◎: 必須、○: 決定内容により必須、△: 任意設定、空白: 不要

※2: カナ名の設定ができない場合は、半角文字のダミーデータ等を設定する。

※3: 境界層対象者に対する定率負担の軽減措置を実施している場合は、定率負担に対する上限月額代わりに減免後の利用者負担上限月額を設定する。また、異動年月日の年月が平成22年4月以降の場合でかつ所得区分コードが次のいずれかの場合、「0」(0円)を設定する。
(「01:生活保護」「02:低所得1」「03:低所得2」「99:その他」)

※4: 世帯員構成等世帯の状況が変化し、利用者負担上限月額を変更する場合は、翌月初日を設定する。また、申請日が月の初日の場合、該当月の初日を設定する。

※5: 異動年月日の年月が平成24年3月以前の場合は、児童福祉法第二十四条の五に基づく給付率(90~100の値)を設定する。

※6: 異動年月日の年月が平成24年3月以前の場合は、使用しない。

※7: 異動年月日の年月が平成22年4月以降の場合は、「1:無し」を設定する。

※8: 異動年月日の年月が平成24年3月以前の場合は、児童福祉法第二十四条の五に基づく給付率の情報を設定する。

※9: 異動年月日の年月が平成24年3月以前の場合は、「1:無し」を設定する。

※10: 異動年月日の年月が平成24年4月以降の場合は、障害児相談支援対象者が利用する障害児支援の支給決定の有効期間のうち最長の有効期間と同一の期間を設定する。

※B: 「インタフェース仕様書 市町村編 Ⅱ. 障害児支援 1.2 インタフェース一覧」参照。

※C: 「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y: 「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z: 「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

1. 3. 2 障害児支援受給者異動連絡票情報（支給決定情報）(B121)

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	必須入力 (※1)	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B
2	異動年月日	コード値	8	受給者異動連絡票情報(支給決定情報)に変更等が生じた年月(西暦年月(YYYYMM))と連番(異動順)を設定する	◎	※Y
3	異動区分コード	コード値	1	異動区分コードを設定する	◎	1:新規 2:変更 3:終了
4	異動事由	コード値	2	受給者異動連絡票情報(支給決定情報)の異動事由を設定する	◎	※C
5	証記載都道府県等番号	コード値	6	受給者証記載の市町村番号を設定する	◎	※C
6	政令市市町村番号	コード値	6	政令市が受給者を行政区で分けて管理する場合のみ政令市の市町村番号を設定する	○	※C
7	受給者証番号	英数	10	受給者証番号を設定する	◎	※C
8	決定サービスコード	コード値	6	決定したサービスのコードを設定する	◎	※C
9	旧障害程度区分等コード	英数	2	設定しない		
10	決定支給量	数値	8	決定した支給量(上 6 桁整数部、下 2 桁小数部)を設定する	○	※2 ※3
11	1回当たりの最大提供量	数値	5	設定しない		
12	支給量単位区分	コード値	1	決定した支給量の単位区分を設定する	○	※C ※3
13	決定支給期間 (開始年月日)	コード値	8	決定サービスの有効期間の開始年月日(西暦年月日(YYYYMMDD))を設定する	◎	※Y ※4
14	決定支給期間 (終了年月日)	コード値	8	決定サービスの有効期間の終了年月日(西暦年月日(YYYYMMDD))を設定する	◎	※Y ※4
15	相互利用対象者区分	コード値	1	設定しない		

※1: 必須入力 ◎: 必須、○: 決定内容により必須、△: 任意設定、空白: 不要

※2: 次のサービスにおける「決定支給量」の設定は、以下のとおりとする。

(1) 通所施設等: 児童発達支援、医療型児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援

① 決定支給量: 「日／月」

② 設定方法 : 1月当たりの日数を設定する。

③ 点検方法 : 決定支給量と実績を点検する。決定支給量を超過した場合は「エラー」とする。

なお、国保連合会に同じサービス提供年月に対する複数の支給決定情報(複数の決定支給量)が存在する場合は、最新の異動年月日の支給決定情報に設定されている決定支給量を使用して実績との点検を行う。また、月途中での開始や終了となる支給決定情報についても、最新の異動年月日の支給決定情報に設定されている決定支給量を使用して実績との点検を行う。

(2) 障害児相談支援

① 決定支給量: なし

② 設定方法 : 設定しない。

③ 点検方法 : なし

※3: 異動年月日の年月が平成24年4月以降の場合、使用する。

※4: 異動年月日の年月が平成24年4月以降の場合は、障害児相談支援対象者が利用する障害児支援の支給決定の有効期間のうち最長の有効期間と同一の期間を設定する。

※B: 「インタフェース仕様書 市町村編 II. 障害児支援 1.2 インタフェース一覧」参照。

※C: 「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y: 「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z: 「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	必須入 力 (※1)	備考
15	障害程度区分情報	障害程度区分コード	英数	2	設定しない	
16		障害程度区分認定有効期間(開始年月日)	コード値	8	設定しない	
17		障害程度区分認定有効期間(終了年月日)	コード値	8	設定しない	
18	利用者負担上限額情報	所得区分コード	英数	2	決定された所得区分コードを設定する	◎ ※C
19		個別減免有無	コード値	1	個別減免の有無を設定する	◎ 1:無し 2:有り
20		生保移行防止有無(定率負担)	コード値	1	生保移行防止有無を設定する	◎ 1:無し 2:有り
21		利用者負担上限月額	数値	6	利用者負担上限月額を設定する	◎
22		利用者負担上限月額有効期間(開始年月日)	コード値	8	利用者負担上限月額の有効期間の開始年月日(西暦年月日(YYYYMMDD))を設定する	◎ ※Y
23		利用者負担上限月額有効期間(終了年月日)	コード値	8	利用者負担上限月額の有効期間の終了年月日(西暦年月日(YYYYMMDD))を設定する	◎ ※Y
24		補足給付有無	コード値	1	1:無しを設定する	◎
25	補足給付情報	生保移行防止有無(補足給付)	コード値	1	1:無しを設定する	◎
26		補足給付額(日額)	数値	4	設定しない	
27		補足給付有効期間(開始年月日)	コード値	8	設定しない	
28		補足給付有効期間(終了年月日)	コード値	8	設定しない	

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考
15	障害程度区分コード	英数	2	設定しない	
16	障害程度区分認定 有効期間 (開始年月日)	コード値	8	設定しない	
17	障害程度区分認定 有効期間 (終了年月日)	コード値	8	設定しない	
18	所得区分コード	英数	2	決定された所得区分コードを設定する	※C
19	個別減免有無	コード値	1	個別減免の有無を設定する	1:無し 2:有り
20	生保移行防止有無 (定率負担)	コード値	1	生保移行防止有無を設定する	1:無し 2:有り
21	利用者負担上限月額	数値	6	利用者負担上限月額を設定する	
22	利用者負担上限月額 有効期間 (開始年月日)	コード値	8	利用者負担上限月額の有効期間の開始年月日(西暦年月日(YYYYMMDD))を設定する	※Y
23	利用者負担上限月額 有効期間 (終了年月日)	コード値	8	利用者負担上限月額の有効期間の終了年月日(西暦年月日(YYYYMMDD))を設定する	※Y
24	補足給付有無	コード値	1	1:無しを設定する	
25	生保移行防止有無 (補足給付)	コード値	1	1:無しを設定する	
26	補足給付額(日額)	数値	4	設定しない	
27	補足給付有効期間 (開始年月日)	コード値	8	設定しない	
28	補足給付有効期間 (終了年月日)	コード値	8	設定しない	

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考	
15	障害程度区分情報	障害程度区分コード	英数	2	設定しない	
16		障害程度区分認定有効期間(開始年月日)	コード値	8	設定しない	
17		障害程度区分認定有効期間(終了年月日)	コード値	8	設定しない	
18	利用者負担上限額情報	所得区分コード	英数	2	決定された所得区分コードを設定する	※C
19		個別減免有無	コード値	1	個別減免の有無を設定する	1:無し 2:有り
20		生保移行防止有無(定率負担)	コード値	1	生保移行防止有無を設定する	1:無し 2:有り
21		利用者負担上限月額	数値	6	利用者負担上限月額を設定する	
22		利用者負担上限月額有効期間(開始年月日)	コード値	8	利用者負担上限月額の有効期間の開始年月日(西暦年月日(YYYYMMDD))を設定する	※Y
23		利用者負担上限月額有効期間(終了年月日)	コード値	8	利用者負担上限月額の有効期間の終了年月日(西暦年月日(YYYYMMDD))を設定する	※Y
24	補足給付情報	補足給付有無	コード値	1	1:無しを設定する	
25		生保移行防止有無(補足給付)	コード値	1	1:無しを設定する	
26		補足給付額(日額)	数値	4	設定しない	
27		補足給付有効期間(開始年月日)	コード値	8	設定しない	
28		補足給付有効期間(終了年月日)	コード値	8	設定しない	

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	必須入力 (※1)	備考	
14	児童情報	児童氏名(カナ)	英数	25	児童氏名カナを設定する	○	
15		生年月日	コード値	8	生年月日(西暦年月日 (YYYYMMDD))を設定する	○	※Y
16	障害程度区分情報	障害程度区分コード	英数	2	設定しない		
17		障害程度区分認定有効期間(開始年月日)	コード値	8	設定しない		
18		障害程度区分認定有効期間(終了年月日)	コード値	8	設定しない		
19	利用者負担上限額情報	所得区分コード	英数	2	決定された所得区分コードを設定する	◎	※C
20		個別減免有無	コード値	1	個別減免の有無を設定する	◎	1:無し 2:有り
21		生保移行防止有無 (定率負担)	コード値	1	生保移行防止有無を設定する	◎	1:無し 2:有り
22		利用者負担上限月額	数値	6	利用者負担上限月額を設定する	◎	
23		利用者負担上限月額有効期間 (開始年月日)	コード値	8	利用者負担上限月額の有効期間の開始年月日(西暦年月日 (YYYYMMDD))を設定する	◎	※Y
24		利用者負担上限月額有効期間 (終了年月日)	コード値	8	利用者負担上限月額の有効期間の終了年月日(西暦年月日 (YYYYMMDD))を設定する	◎	※Y
25	補足給付情報	補足給付有無	コード値	1	1:無しを設定する	◎	
26		生保移行防止有無 (補足給付)	コード値	1	1:無しを設定する	◎	
27		補足給付額(日額)	数値	4	設定しない		
28		補足給付有効期間 (開始年月日)	コード値	8	設定しない		
29		補足給付有効期間 (終了年月日)	コード値	8	設定しない		

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考	
15	障害程度区分情報	障害程度区分コード	英数	2	設定しない	
16		障害程度区分認定有効期間(開始年月日)	コード値	8	設定しない	
17		障害程度区分認定有効期間(終了年月日)	コード値	8	設定しない	
18	利用者負担上限額情報	所得区分コード	英数	2	決定された所得区分コードを設定する	※C
19		個別減免有無	コード値	1	個別減免の有無を設定する	1:無し 2:有り
20		生保移行防止有無(定率負担)	コード値	1	生保移行防止有無を設定する	1:無し 2:有り
21		利用者負担上限月額	数値	6	利用者負担上限月額を設定する	
22		利用者負担上限月額有効期間(開始年月日)	コード値	8	利用者負担上限月額の有効期間の開始年月日(西暦年月日(YYYYMMDD))を設定する	※Y
23		利用者負担上限月額有効期間(終了年月日)	コード値	8	利用者負担上限月額の有効期間の終了年月日(西暦年月日(YYYYMMDD))を設定する	※Y
24	補足給付情報	補足給付有無	コード値	1	1:無しを設定する	
25		生保移行防止有無(補足給付)	コード値	1	1:無しを設定する	
26		補足給付額(日額)	数値	4	設定しない	
27		補足給付有効期間(開始年月日)	コード値	8	設定しない	
28		補足給付有効期間(終了年月日)	コード値	8	設定しない	

2. 3 項目説明

本節では、「インタフェース仕様書 共通編 1. 2. 2(2)レコードフォーマット」のデータレコードフォーマットにおいて“データ”として記載されている項目の各交換情報のインタフェースについて記載する。

なお、障害児入所支援に関するインタフェースの項目説明は、インタフェース仕様書都道府県編を参照。

2. 3. 1 都道府県等審査用資料情報（出力情報）

(1) 事務点検結果票情報（B711）

① 基本情報レコード

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	出力対象 項目 (※1)	備考		
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B		
2	レコード種別コード	コード値	2	01を設定する(基本情報)	◎			
3	証記載都道府県等番号	コード値	6	受給者証に記載された市町村番号を設定する	◎	※C		
4	証記載都道府県等名	漢字	40	受給者証に記載された市町村名を設定する	◎			
5	受付年月	コード値	6	請求受付年月(西暦年月 YYYYMM)を設定する	◎	※Y		
6	計	点検件数	数値	12	点検件数を設定する	◎		
7		正常件数	数値	12	件数を設定する	◎		
8		警告件数	数値	12	件数を設定する	◎		
9		エラー件数	数値	12	件数を設定する	◎		
10		請求額	給付費	数値	12	給付費を設定する	◎	
11			特別対策費	数値	12	特別対策費を設定する	○	
12			自治体助成分請求額	数値	12	自治体助成分請求額を設定する	○	
13			高額障害児通所給付費	数値	12	高額障害児通所給付費を設定する	○	
14	審査年月日	コード値	8	市町村審査年月日(西暦年月日 YYYYMMDD)を設定する		※Y		

※1:出力対象項目 ◎:出力対象項目、○:請求内容により出力対象となる項目

△:事業所の設定状況により出力対象となる項目、空白:出力対象外項目

※B:「インタフェース仕様書 市町村編 II. 障害児支援 2.2 インタフェース一覧」参照。

※C:「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y:「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z:「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

② 明細情報レコード

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	出力対象 項目 (※1)	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B
2	レコード種別コード	コード値	2	02を設定する(明細情報)	◎	
3	証記載都道府県等番号	コード値	6	受給者証に記載された市町村番号を設定する	◎	※C
4	受付年月	コード値	6	請求受付年月(西暦年月 YYYYMM)を設定する	◎	※Y
5	明細行区分コード	コード値	2	明細行区分を設定する	◎	※2
6	点検件数	数値	12	点検件数を設定する	◎	
7	正常件数	数値	12	件数を設定する	◎	
8	警告件数	数値	12	件数を設定する	◎	
9	エラー件数	数値	12	件数を設定する	◎	
10	請求額	給付費	数値	12	給付費を設定する	◎
11		特別対策費	数値	12	特別対策費を設定する	○
12	自治体助成分 請求額	数値	12	自治体助成分請求額を設定する	○	
13	高額障害児通所給付費	数値	12	高額障害児通所給付費を設定する	○	

※1: 出力対象項目 ◎: 出力対象項目、○: 請求内容により出力対象となる項目

△: 事業所の設定状況により出力対象となる項目、空白: 出力対象外項目

※2: 明細行区分コード

01: 給付費 03: 過誤調整 04: サービス提供実績記録票 05: 利用者負担上限額管理票 06: 特例障害児通所給付費(サービス提供年月が平成24年4月以降使用) 07: 障害児相談支援給付費(サービス提供年月が平成24年4月以降使用) 08: 特例障害児相談支援給付費(サービス提供年月が平成24年4月以降使用)

※B: 「インタフェース仕様書 市町村編 II. 障害児支援 2.2 インタフェース一覧」参照。

※C: 「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y: 「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z: 「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

項番	項目名		属性 (※2)	バイト 数	内容	出力対象項目 (※1)		備考	
						K122	K221		
19	上限額管理事業所	指定事業所番号	コード値	10	上限額管理事業所の事業所番号を設定する	○	○	※C ※4	
20		管理結果	コード値	1	上限額管理結果票の管理結果を設定する	○	○	※3 ※4	
21		管理結果額	数値	5	上限額管理結果票の管理結果額を設定する	○	○	※4	
22	日中支援加算欄	指定事業所番号	コード値	10	設定しない				
23		当該事業所への通所日数	数値	2	設定しない				
24	請求額集計欄 合計	給付単位数	数値	9	サービス種類コードごとの単位数を設定する	◎	◎		
25		総費用額	数値	10	サービスの総費用額を設定する	◎	◎		
26		上限月額調整(①②の内少ない数)	数値	6	上限月額調整(①②の内少ない数)の合計を設定する	◎	◎		
27		A型減免	事業者減免額	数値	6	設定しない			
28			減免後利用者負担額	数値	6	設定しない			
29		調整後利用者負担額	数値	6	調整後利用者負担額を設定する	○	○		
30		上限額管理後利用者負担額	数値	6	上限額管理後利用者負担額	○	○	※4	
31		決定利用者負担額	数値	6	算定した結果の利用者負担額を設定する(自治体助成分請求額を控除する前の利用者負担額である)	◎	◎		
32		請求額	給付費	数値	10	給付費の請求額を設定	◎	◎	
33			高額障害児通所給付費	数値	10	高額障害児通所給付費を設定		○	
34			特別対策費	数値	10	サービス提供年月が平成21年10月以降は、事業運営安定化に係る請求額を設定 サービス提供年月が平成21年9月以前は、特別対策費である激変緩和加算に係る請求額を設定	○	○	
35	自治体助成分請求額		数値	6	利用者負担額のうち自治体が助成する額を設定する	○	○		

項番	項目名		属性 (※Z)	バイト 数	内容	出力対象項目 (※1)		備考
						K122	K221	
17	利用者負担額 ②(サービス提供年月が平成24年3月以前:給付率に基づく利用者負担額②)		数値	6	1割相当額を設定する (サービス提供年月が平成24年3月以前:総費用額－給付率に基づく請求額)	◎	◎	※6
18	上限月額調整 (①②の内少ない数)		数値	6	利用者負担上限月額と利用者負担額②のうち少ないほうを設定する	◎	◎	
19	A型減免	事業者減免額	数値	6	設定しない			
20		減免後利用者負担額	数値	6	設定しない			
21	調整後利用者負担額		数値	6	調整後利用者負担額を設定する	○	○	
22	上限額管理後利用者負担額		数値	6	上限額管理後利用者負担額を設定する	○	○	※5
23	決定利用者負担額		数値	6	算定した結果の利用者負担額を設定する(自治体助成分請求額を控除する前の利用者負担額である)	◎	◎	
24	請求額	給付費	数値	10	給付費の請求額を設定	◎	◎	
25		高額障害児通所給付費	数値	10	高額障害児通所給付費の請求額を設定する		○	
26		特別対策費	数値	10	サービス提供年月が平成21年10月以降は、事業運営安定化に係る請求額を設定 サービス提供年月が平成21年9月以前は、特別対策費である激変緩和加算に係る請求額を設定	○	○	
27		自治体助成分請求額	数値	6	利用者負担額のうち自治体が助成する額を設定する	○	○	※4
28	特定入所障害児食費等給付費	算定日額	数値	4	設定しない			
29		日数	数値	2	設定しない			
30		給付費請求額	数値	5	設定しない			
31		実費算定額	数値	6	設定しない			

⑥ 点検済障害児相談支援給付費請求書／点検済特例障害児相談支援給付費請求書情報
明細情報レコード（複数レコード）

項番	項目名		属性 (※Z)	バイト 数	内容	出力対象 項目(※1)	備考
						K311、K321	
1	交換情報識別番号		英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B
2	入力識別番号		英数	4	入力元の交換情報識別番号を設定する	◎	※2
3	レコード種別コード		コード値	2	02を設定する(明細情報レコード)	◎	
4	サービス提供年月		コード値	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMMを設定する)	◎	※Y
5	市町村番号		コード値	6	受給者証に記載された市町村番号(チェック デジット1桁含む)	◎	※C
6	事業所番号		コード値	10	サービスを提供した事業所番号	◎	※C
7	項番		数値	4	1からの連番を設定する	◎	
8	受給者証番号		英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号	◎	※C
9	給付決定保護者氏名カナ		英数	25	給付決定保護者カナ氏名	△	
10	給付決定に係る児童氏 名カナ		英数	25	給付決定に係る児童カナ氏名	△	
11	モニタリング日		コード値	8	障害児支援の場合は計画作成日、継続 障害児支援の場合は直近のモニタリング 日を設定する(西暦年月日 YYYYMMDDを 設定する)	○	※Y
12	請求 額 計算 欄	サービスコード	コード値	6	サービスコードを設定	◎	※C
13		単位数	数値	4	単位数を設定	◎	
14		請求額	数値	6	明細1行ごとの請求額を設定 (小数点以下切捨て)	◎	
15	単位数単価		数値	5	整数部2桁、小数部3桁の半角数字 8.5 円の場合、08500(または 8500)を 設定する	◎	
16	受付年月		コード値	6	請求受付年月(西暦年月 YYYYMM)を設 定する	◎	※Y
17	点検結果		コード値	1	点検結果を設定する	◎	1:正常 2:警告 3:エラー 4:過誤 5:過誤の 取下

※1:出力対象項目 ◎:出力対象項目、○:請求内容により出力対象となる項目

△:事業所の設定状況により出力対象となる項目、空白:出力対象外項目

※2:「インタフェース仕様書 市町村編 II. 障害児支援 2.3.1(4)入力識別番号一覧」参照。

※B:「インタフェース仕様書 市町村編 II. 障害児支援 2.2 インタフェース一覧」参照。

※C:「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y:「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z:「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

⑦ 点検済サービス提供実績記録票情報 基本情報レコード

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考	
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	※B	
2	入力識別番号	英数	4	入力元の交換情報識別番号を設定する	※1	
3	レコード種別コード	コード値	2	01を設定する(基本情報レコード)		
4	サービス提供年月	コード値	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMMを設定する)	※Y	
5	都道府県等番号	コード値	6	受給者証に記載された市町村番号(チェックデ ジット1桁含む)	※C	
6	事業所番号	コード値	10	サービスを提供した事業所番号	※C	
7	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号	※C	
8	様式種別番号	コード値	4	様式番号 2 桁、枝番 2 桁を設定	※2	
9	補足給付関係情報	補足給付適用の有無	コード値	1	設定しない	
10		補足給付額(円/日)	数値	4	設定しない	
11		食費の単価 朝食 (円/日)	数値	5	設定しない	
12		食費の単価 昼食 (円/日)	数値	5	設定しない	
13		食費の単価 夕食 (円/日)	数値	5	設定しない	
14		食費の単価 一日 (円/日)	数値	5	設定しない	
15		光熱水費の単価 一日 (円/日)	数値	6	設定しない	
16		光熱水費の単価 一月 (円/月)	数値	6	設定しない	
17	合計1(身体介護・行動援護・重度訪問)	内訳 100%	数値	5	設定しない	
18		内訳 70%	数値	5	設定しない	
19		内訳 重訪	数値	5	設定しない	
20		合計 算定時間数計	数値	5	設定しない	

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考
21	合計2(通院介護(伴う)、同行援護(伴う))	内訳 100%	数値	5	設定しない
22		内訳 70%	数値	5	設定しない
23		内訳 重訪	数値	5	設定しない
24		合計 算定時間数計	数値	5	設定しない
25	合計3(家事援助)	内訳 100%	数値	5	設定しない
26		内訳 90%	数値	5	設定しない
27		合計 算定時間数計	数値	5	設定しない
28	合計4(通院介護(伴わず)、同行援護(伴わず))	内訳 100%	数値	5	設定しない
29		内訳 90%	数値	5	設定しない
30		合計 算定時間数計	数値	5	設定しない
31	合計5(通院等乗降介助)	内訳 100%	数値	3	設定しない
32		内訳 90%	数値	3	設定しない
33		合計 算定回数計	数値	3	設定しない
34	提供実績の合計	算定 移動介護分	数値	3	設定しない
35		実績 送迎加算(回)	数値	2	片道単位の送迎回数を設定
36		実績 家庭連携加算(回) (サービス提供回数)	数値	2	家庭連携加算のサービス提供回数を設定
37		実績 家庭連携加算(回) (算定回数)	数値	2	家庭連携加算の算定回数を設定
38		合計 算定日数(日)	数値	2	算定日数の合計を設定
39		夜間支援体制加算(回)	数値	2	設定しない
40		日中支援加算(回) (サービス提供回数)	数値	2	設定しない
41		日中支援加算(回) (算定回数)	数値	2	設定しない
42		通所型(回)	数値	2	設定しない

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考
65	入所時特別支援加算	利用開始日(年月日)	コード値	8	設定しない
66		30日目(年月日)	コード値	8	設定しない
67		当月算定日数(日)	コード値	2	設定しない
68	退所時特別支援加算	入所中算定日(年月日)	コード値	8	設定しない
69		退所日(年月日)	コード値	8	設定しない
70		退所後算定日(年月日)	コード値	8	設定しない
71	初期加算	利用開始日(年月日)	コード値	8	設定しない
72		30日目(年月日)	コード値	8	設定しない
73		当月算定日数(日)	数値	2	設定しない
74	地域移行加算	入所中算定日(年月日)	コード値	8	設定しない
75		退所日(年月日)	コード値	8	設定しない
76		退所後算定日(年月日)	コード値	8	設定しない
77	重度包括	実績単位数(単位)	数値	6	設定しない
78		実績割合(%)	数値	4	設定しない
79		支給決定量(単位)	数値	6	設定しない
80		報酬請求額(円)	数値	7	設定しない
81		利用者負担上限月額(円)	数値	6	設定しない
82		利用者負担額(円)	数値	6	設定しない
83		共同生活介護合計日数	数値	2	設定しない
84		短期入所合計日数	数値	2	設定しない
85		その他サービス合計 時間数	数値	5	設定しない
86		当該月の日数	数値	2	設定しない
87	サービス担当者会議 開催日	コード値	8	設定しない	

⑧ 点検済サービス提供実績記録票情報 明細情報レコード（複数レコード）

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	※B
2	入力識別番号	英数	4	入力元の交換情報識別番号を設定する	※1
3	レコード種別コード	コード値	2	02を設定する(明細情報レコード)	
4	サービス提供年月	コード値	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMM を設定する)	※Y
5	都道府県等番号	コード値	6	受給者証に記載された市町村番号(チェックデジット1桁含む)	※C
6	事業所番号	コード値	10	サービスを提供した事業所番号	※C
7	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号	※C
8	様式種別番号	コード値	4	様式番号 2 桁、枝番 2 桁を設定	※2
9	提供通番	数値	3	設定しない	
10	日付	コード値	2	日を設定	
11	サービス提供回数	数値	2	設定しない	
12	サービス内容	コード値	6	設定しない	
13	ヘルパー資格	コード値	2	設定しない	
14	運転フラグ	コード値	1	設定しない	
15	開始時間	数値	4	開始時間を数字 4 桁で設定 例) 10:00→1000	
16	終了時間	数値	4	終了時間を数字 4 桁で設定 例) 11:00→1100	
17	算定時間数	数値	4	設定しない	
18	乗降(回数)	数値	2	設定しない	
19	移動	数値	2	設定しない	
20	派遣人数	数値	1	設定しない	
21	前月からの継続サービス	コード値	1	設定しない	
22	送迎加算 往	数値	1	送迎(往路)を行った回数を設定	
23	送迎加算 復	数値	1	送迎(復路)を行った回数を設定	
24	家庭連携加算 (サービス提供時間数)	数値	4	家庭連携加算に関して、実際に支援に要した時間数を設定(整数部 2 桁+小数部 2 桁を設定、例: 1.5時間→0150(または 150))	
25	家庭連携加算 (算定時間数)	数値	2	家庭連携加算に関して、算定する時間数を設定	
26	自活訓練加算	コード値	1	設定しない	
27	短期滞在加算	コード値	1	設定しない	
28	訪問支援特別加算 (サービス提供時間数)	数値	4	実際にサービス提供した時間数を設定(整数部 2 桁+小数部 2 桁を設定、例: 1.5時間→0150(または 150))	

2. 3. 2 都道府県等審査結果資料情報

(1) 審査結果票情報 (B811)

国保連合会の点検結果通りの場合は、審査結果票情報を国保連合会に提出する。また、その場合は、審査結果一覧情報を提出する必要はない。

① 基本情報レコード

項番	項目名		属性 (※Z)	バイト 数	内容	必須入力 (※1)	備考	
1	交換情報識別番号		英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B	
2	レコード種別コード		コード値	2	01を設定する(基本情報)	◎		
3	証記載都道府県等番号		コード値	6	受給者証に記載された市町村番号を設定する	◎	※C	
4	証記載都道府県等名		漢字	40	受給者証に記載された市町村名を設定する	◎		
5	受付年月		コード値	6	請求受付年月(西暦年月YYYYMM)を設定する	◎	※Y	
6	計	点検件数	数値	12	点検件数を設定する	◎		
7		正常件数	数値	12	件数を設定する	◎		
8		警告件数	数値	12	件数を設定する	◎		
9		エラー件数	数値	12	件数を設定する	◎		
10		請求額	給付費	数値	12	給付費を設定する	◎	
11			特別対策費	数値	12	特別対策費を設定する	○	
12		自治体助成分請求額		数値	12	自治体助成分請求額を設定する	○	
13	高額障害児通所給付費		数値	12	高額障害児通所給付費を設定する	○		
14	審査年月日		コード値	8	審査年月日(西暦年月日YYYYMMDD)を設定	◎	※Y	

※1: 必須入力 ◎: 必須、○: 請求内容により必須、△: 任意設定、空白: 不要

※B: 「インタフェース仕様書 市町村編 II. 障害児支援 2.2 インタフェース一覧」参照。

※C: 「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y: 「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z: 「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

2. 3. 4 過誤申立書情報 (BA11)

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	必須入力 (※1)	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B
2	申立年月日	コード値	8	過誤申立の申立年月日(西暦年月日(YYYYMMDD))を設定する	◎	※Y
3	事業所番号	コード値	10	サービス提供事業所番号を設定する	◎	※C
4	証記載都道府県等番号	コード値	6	受給者証に記載された市町村番号を設定する	◎	※C
5	受給者証番号	英数	10	受給者証番号を設定する	◎	※C
6	サービス提供年月	コード値	6	過誤申立の対象となるサービス提供年月(西暦年月(YYYYMM))を設定する	◎	※Y
7	申立事由コード	英数	4	過誤申立の事由コードを設定する	◎	※2 ※C

※1: 必須入力 ◎: 必須、○: 請求内容により必須、△: 任意設定、空白: 不要

※2: 申立事由コードは、4桁の英数字属性のコードとし、申立情報作成の都度入力を行う。

(1) 過誤申立事由コード構成(上2桁: 様式番号、下2桁: 申立理由番号)は、以下のとおり。

<p>【様式番号】(上2桁)</p> <p>41: 障害児通所給付費・入所給付費等明細書(様式第二) (サービス提供年月が平成24年4月以降使用)</p> <p>60: 障害児相談支援給付費請求書(様式第三) (サービス提供年月が平成24年4月以降使用)</p> <p>70: 特例障害児通所給付費等明細書(様式第五) (サービス提供年月が平成24年4月以降使用)</p> <p>71: 特例障害児相談支援給付費請求書(様式第六) (サービス提供年月が平成24年4月以降使用)</p>	<p>【申立理由番号】(下2桁)</p> <p>01: 台帳誤り修正による市町村申立の過誤調整</p> <p>02: 請求誤りによる実績取り下げ</p> <p>09: 時効による市町村申立の取り下げ</p> <p>11: 台帳誤り修正による事業所申立の実績取り下げ</p> <p>32: 提供実績記録票誤りによる実績の取り下げ</p> <p>33: 上限の誤りによる実績取り下げ</p> <p>90: その他の事由による台帳過誤</p> <p>99: その他の事由による実績の取り下げ</p>
--	--

(2) 明細書を過誤とした場合は、サービス提供実績記録票も過誤とする。

(3) 利用者負担上限額管理結果票は過誤対象ではなく、事業所インタフェースで修正/取消を行う。

(4) 請求支払額確定後の利用者負担上限額管理結果票の修正はエラーとなるが、利用者負担上限額管理結果票を修正する場合は、過誤申立を行い、請求明細書と利用者負担上限額管理票を再度提出する。

※B: 「インタフェース仕様書 市町村編 II. 障害児支援 2.2 インタフェース一覧」参照。

※C: 「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y: 「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z: 「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

項番	項目名		属性 (※Z)	バイト 数	内容	必須入力 (※1)			備考	
						J121	J131	J221		
19	上限額管理事業所	指定事業所 番号	コード値	10	上限額管理事業所の事業所番号 を設定する	○	○	○	※C	
20		管理結果	コード値	1	上限額管理結果票の管理結果を 設定する	○	○	○	※5	
21		管理結果額	数値	5	上限額管理結果票の管理結果額 を設定する	○	○	○		
22	日中支援加算欄	指定事業所 番号	コード値	10	連絡調整を行った日中介護事業所 の事業所番号を設定する		○		※C	
23		当該事業所への通 所日数	数値	2	日中介護事業所への通所日数を 設定する		○			
24	請求額集計欄 合計	給付単位数	数値	9	単位数の合計を設定する	◎	◎	◎		
25		総費用額	数値	10	サービスの総費用額の合計を設定 する	◎	◎	◎		
26		上限月額調整(① ②の内少ない数)	数値	6	上限月額調整(①②の内少ない数)の 合計を設定する	◎	◎	◎		
27		A型減免	事業者 減免額	数値	6	A型事業者減免額を設定	○			
28			減免後利用 者負担額	数値	6	A型減免後の利用者負担額を 設定	○			
29		調整後利用者 負担額	数値	6	調整後利用者負担額を設定する	○	○	○		
30		上限額管理後 利用者負担額	数値	6	上限額管理後利用者負担額	○	○	○		
31		決定利用者 負担額	数値	6	算定した結果の利用者負担額を設定 する(自治体助成分請求額を控 除する前の利用者負担額である)	◎	◎	◎		
32		請求額	給付費	数値	10	給付費の請求額を設定	◎	◎	◎	
33			高額障害福 祉サービス費	数値	10	高額障害福祉サービス費を設定			○	
34			特別対策費	数値	10	サービス提供年月が平成 24 年 4 月以降は、事業運営安定化に係る 請求額を設定 サービス提供年月が平成 21 年 10 月以降は、事業運営安定化およ び、移行時運営安定化に係る請求 額を設定 サービス提供年月が平成 21 年 9 月以前は、特別対策費である激変 緩和加算に係る請求額を設定	○	○	○	

項番	項目名		属性 (※2)	バイト 数	内容	必須入力 (※1)			備考
						J121	J131	J221	
19	A型減免	事業者減免額	数値	6	A型事業者減免額を設定	○			
20		減免後利用者負担額	数値	6	A型減免後の利用者負担額を設定	○			
21	調整後利用者負担額		数値	6	調整後利用者負担額を設定する	○	○	○	
22	上限額管理後利用者負担額		数値	6	上限額管理後利用者負担額を設定する	○	○	○	
23	決定利用者負担額		数値	6	算定した結果の利用者負担額を設定する(自治体助成分請求額を控除する前の利用者負担額である)	◎	◎	◎	
24	請求額集計欄	給付費	数値	10	給付費の請求額を設定する	◎	◎	◎	
25		高額障害福祉サービス費	数値	10	高額障害福祉サービス費の請求額を設定する			○	
26		請求額 特別対策費	数値	10	サービス提供年月が平成24年4月以降は、事業運営安定化に係る請求額を設定 サービス提供年月が平成21年10月以降は、事業運営安定化および、移行時運営安定化に係る請求額を設定 サービス提供年月が平成21年9月以前は、特別対策費である激変緩和加算に係る請求額を設定	○	○	○	
27		自治体助成分請求額	数値	6	利用者負担額のうち自治体が助成する額を設定する	○	○	○	
28	特定障害者特別給付費	算定日額	数値	4	サービス種類ごとに算定する日額を設定する	○			
29		日数	数値	2	サービス種類ごとに算定する日数を設定する	○			
30		給付費請求額	数値	5	サービス種類ごとに給付費請求額を設定する	○	○		
31		実費算定額	数値	6	サービス種類ごとに実費算定額を設定する	○	○		
32	利用日数管理票	対象期間(開始)	コード値	6	利用日数の特例開始年月(西暦年月 YYYYMM)を設定する	○		○	※Y
33		対象期間(終了)	コード値	6	利用日数の特例終了年月(西暦年月 YYYYMM)を設定する	○		○	※Y
34		当月の利用日数	数値	2	当月の利用日数	○		○	
35		原則日数の総和	数値	3	対象期間における原則日数の総和を設定する	○		○	
36	受付年月		コード値	6	請求受付年月(西暦年月 YYYYMM)を設定する	◎	◎	◎	※Y
37	点検結果		コード値	1	点検結果を設定する	○	○	○	1:正常 2:警告 3:エラー 4:過誤 5:過誤の取下

⑦ 補装具費支給レコード

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	必須入力 (※1)	備考	
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B	
2	入力識別番号	英数	4	入力元の交換情報識別番号を設定する	◎	※2	
3	レコード種別コード	コード値	2	07を設定する(補装具費支給レコード)	◎		
4	給付実績情報 作成区分コード	コード値	1	給付実績情報の作成区分を出力	◎	1:新規 2:修正 3:取消	
5	算定年月	コード値	6	補装具を支給決定した年月(西暦年月 YYYYMM)を設定する	◎	※Y	
6	証記載市町村番号	コード値	6	受給者証記載の都道府県等番号、または受給 者証記載の市町村番号を設定する	◎		
7	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号を設 定する	◎	※C ※3	
8	受給者証番号種別	コード値	1	受給者証番号の種別を設定する	◎	1:障害者 自立支援 法に基づ く受給者 証番号 2:児童福 祉法に基づ く受給者 証番号 ※4	
9	補 装 具 情 報	氏名(漢字)	漢字	40	氏名(漢字)を設定する	○	※5
10		郵便番号	コード値	7	郵便番号を設定する	○	※5
11		住所(カナ)	英数	75	住所(カナ)を設定する	○	※5
12		住所(漢字)	漢字	128	住所(漢字)を設定する	○	※5
13		電話番号	英数	15	電話番号を設定する	○	※5
14	利用者負担上限月額	数値	6	補装具の利用者負担上限月額を設定する	◎		
15	利用者負担額	数値	6	補装具の利用者が負担した金額を設定する	◎	※6	

- ※1: 必須入力(入力識別番号毎) ◎: 必須、○: 請求内容により必須、△: 任意設定、空白: 不要
- ※2: 「インタフェース仕様書 市町村編 IV. 給付実績交換業務 1.3.1(1)入力識別番号一覧」参照。
- ※3: 障害者の場合は、本人の受給者証番号を設定する。なお、障害者の場合で、障害者自立支援法に基づく障害福祉サービス費及び地域相談支援給付費を併給しており、それぞれの受給者証番号が異なる場合は、障害福祉サービス費の受給者証番号を設定する。
障害児の場合は、保護者の受給者証番号を設定する。なお、障害児の場合で、障害者自立支援法に基づく障害福祉サービス費及び児童福祉法に基づく障害児給付費を併給する場合は、いずれかの受給者証番号を設定する。
- ※4: 障害者で障害者自立支援法に基づく障害福祉サービス費を受給している場合は、「1」を設定する。
障害児で児童福祉法に基づく障害児給付費を受給している場合は、「2」を設定する。障害児で障害者自立支援法に基づく障害福祉サービス費を受給している場合は、「1」を設定する。なお、障害児の場合で、障害者自立支援法に基づく障害福祉サービス費及び児童福祉法に基づく障害児給付費を併給する場合は、「1」、「2」のいずれかを設定する。
- ※5: 障害福祉サービス、または障害児支援の受給者ではない場合に設定する。
- ※6: 利用者が補装具の総費用額を全て自己負担し、償還払いとなるケースの場合、総費用額を設定するのではなく、本来利用者が負担すべき費用を設定する。
- ※B: 「インタフェース仕様書 市町村編 IV. 給付実績交換業務 1.2 インタフェース一覧」参照。
- ※C: 「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。
- ※Y: 「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。
- ※Z: 「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。